

平成30年度

帰国子女特別入試  
学生募集要項



新潟大學

Niigata University

## 新潟大学の理念

新潟大学は、高志（こし）の大地に育まれた敬虔質実の伝統と世界に開かれた海港都市の進取の精神に基づいて、自律と創生を全学の理念とし、教育と研究及び社会貢献を通じて、世界の平和と発展に寄与することを全学の目的としています。

## 教育の基本的目標

この理念の実現と目的の達成のために、教育の基本的目標を、新潟大学の総合力を活かした学位プログラムを通じて、豊かな教養と高い専門知識を修得し、高い見識と良識をもって社会や時代の課題に的確に対応して、広範に活躍する人材を育成することに置いています。

## 求める学生像

教育の基本的目標を実現するために、次に掲げるような資質豊かな学生を広く求めます。

- 修学に適う、確固たる学力を身につけ、新しい課題に意欲的に取り組もうとする人
- 人間性を大事にし、広い視野からものごとを考えようとする人
- 地域社会や世界の様々な場面で役に立ちたいと思っている人

上記の求める学生像に加え、学士課程においては、高等学校教育の全般にわたる基礎学力を有し、当該学部の教育目標・教育内容を理解し、基礎的能力と勉学への強い意欲を有する人を求め選抜します。

各学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）については、新潟大学ホームページ（<http://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望する方」をご覧ください。

## 新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では、災害等の被災者の経済的負担を軽減し、進学機会の確保を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など、免除に関する詳細については、本学ホームページをご覧ください。

## ◇不測の事態等が発生した場合の諸連絡

不測の事態等により、本募集要項の内容に変更が生じた場合には、次のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意願います。

## ○新潟大学ホームページ

URL <http://www.niigata-u.ac.jp/>

# 目 次

1	実施学部及び募集人員	1
2	出願資格	2
3	入学者の選抜方法	3
4	学力検査等期日及び時間割等	8
5	出願手続	10
6	試験場	13
7	受験上の留意事項	13
8	合格者の発表	14
9	入学手続等	15
10	学生寮への入寮について	16
11	障がい等を有する入学志願者の事前相談	17
12	入学者選抜に用いた個人情報の取扱い	17
13	入試情報の提供及び開示	18
	○入学志願票 記入上の注意	21
	○受験票・写真票 記入上の注意	22
	<b>出願資格の確認について</b>	<b>23</b>

## 〔添付書類〕

この要項には、次の書類が添付されています。

- 1 入学志願票・受験票・写真票
- 2 振込依頼書（新潟大学帰国子女特別入試検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）
- 3 実技検査（音楽）選択受験申込票
- 4 実技検査（体育）受験種目申込票
- 5 実技検査（美術）選択受験申込票
- 6 スポーツ歴記入票
- 7 理学部 帰国子女特別入試 選抜方法C 面接のための参考資料
- 8 出願資格確認書
- 9 封筒 3枚（出願書類等提出用，入学試験関係書類返信用，合格通知書返信用）

# 1 実施学部及び募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程	募 集 人 員	学 部	学 科 ・ 課 程	募 集 人 員
人文学部	人 文 学 科	若 干 人	医学部	保 健 学 科	3 人
教育学部	学 校 教 員 養 成 課 程	若 干 人	歯学部	歯 学 科	若 干 人
法学部	法 学 科	若 干 人	工学部	工 学 科	若 干 人
経済学部	経 済 学 科	若 干 人	農学部	農 学 科	若 干 人
昼間コース	経 営 学 科				
理学部	理 学 科	若 干 人			

(備考)

- 1 入学後の履修については、特別の措置は行いません。
- 2 教育学部学校教員養成課程は、専修ごとに募集します。コース・専修は、次のとおりです。

学校教育コース			教 科 教 育 コ ー ス									
学 校 教育学	教 育 心理学	特別支援 教育	国 語 教育	社会科 教育	英 語 教育	数 学 教育	理 科 教育	家庭科 教育	技術科 教育	音 楽 教育	美 術 教育	保 健 体育

- 3 理学部理学科は、7つの主専攻プログラム（数学、物理学、化学、生物学、地質科学、自然環境科学、フィールド科学人材育成）からなります。主専攻プログラムにかかわらず、試験科目とその評価の重点の異なる3つの選抜方法（選抜方法A、B、C）により募集します。選抜方法ごとの試験科目は4ページを参照してください。

なお、選抜方法Cにおいてはフィールドワークや野外を対象とする自然科学分野に対する意欲と適性を面接によってはかります。

- 4 医学部保健学科は、専攻ごとに募集します。専攻別の募集人員は、次のとおりです。

専 攻	看 護 学 専 攻	放射線技術科学専攻	検査技術科学専攻
募集人員	1 人	1 人	1 人

なお、欠員が生じた場合は、その欠員分を当該学科（専攻）の一般入試における前日日程の募集人員に加えます。

- 5 工学部工学科は、以下の9つの主専攻プログラムからなり、主専攻プログラムごとに募集します。

学 科	主 専 攻 プ ロ グ ラ ム	募 集 人 員
工 学 科	機械システム工学プログラム	若 干 人
	社会基盤工学プログラム	
	電子情報通信プログラム	
	知能情報システムプログラム	
	化学システム工学プログラム	
	材料科学プログラム	
	建築学プログラム	
	人間支援感性科学プログラム	
	協創経営プログラム	

- 6 農学部農学科は、5つの主専攻プログラム（応用生命科学、食品科学、生物資源科学、流域環境学、フィールド科学人材育成）からなりますが、帰国子女特別入試では、主専攻プログラムにかかわらず、一括して募集します。

## 2 出 願 資 格

日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により次のいずれかに該当するものとします。この場合、転勤等により、保護者が先に帰国した場合も認めます。ただし、法学部は、保護者の海外勤務等の事情を問いません。

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を平成28年（2016年）4月1日から平成30年（2018年）3月31日までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者  
ただし、卒業（修了）時において最終学年を含め、継続して2年以上外国の学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を除く。）を受けていること
- (2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年（2016年）又は平成29年（2017年）に授与された者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (3) 外国において、ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年（2016年）又は平成29年（2017年）に授与された者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (4) 外国において、フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年（2016年）又は平成29年（2017年）に授与された者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (5) 外国において、グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国で大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEAレベル資格）を平成28年（2016年）又は平成29年（2017年）に取得した者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- (6) 外国において、国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成28年（2016年）4月1日から平成30年（2018年）3月31日までに修了した者又は修了見込みの者で、平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの

(注) 志願者は、出願前に出願資格を確認する必要があります。出願資格の確認については、23ページを参照してください。

### 3 入学者の選抜方法

入学者の選抜方法は、大学入試センター試験を免除し、学力検査、実技検査、小論文、面接及び出願書類により行います。

入学者選抜の判定は、当該試験等の結果を総合して行います。

#### (1) 学力検査等の実施教科・科目名等

区 分		学 力 検 査 等	
		教科等	科 目 名 等
人文学部	人文学科	小論文	「小論文」(日本語による) 必須
		面接	「面接」 必須
教育学部	学校	学校教育コース 〔学校教育学〕 〔教育心理学〕 〔特別支援教育〕	国語 数学 外国語 「国語総合・現代文B・古典B」 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 } から 2教科選択
		教科教育コース 〔国語教育〕 〔社会科教育〕	国語 外国語 「国語総合・現代文B・古典B」 必須 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 必須
		教科教育コース (英語教育)	国語 外国語 「国語総合・現代文B・古典B」 必須 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ(リスニングテストを含む)・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 必須
	教員養成	教科教育コース (数学教育)	数 学 理 科 外国語 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 必須 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 から 1科目選択 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 } から 1教科選択
		教科教育コース (理科教育)	理 科 数 学 外国語 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 から1科目選択 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 } から 1教科選択
	課程	教科教育コース (家庭科教育)	数 学 国 語 外国語 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 必須 「国語総合・現代文B・古典B」 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」 } から 1教科選択
		教科教育コース (技術科教育)	数 学 理 科 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 必須 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」 から1科目選択
		教科教育コース (音楽教育)	実 技 「音楽実技」 必須

区 分			学 力 検 査 等	
			教科等	科 目 名 等
教育学部	学校教員養成課程	教科教育コース (美術教育)	実 技	「美術実技」必須
		教科教育コース (保健体育)	実 技	「体育実技」必須
法学部		法 学 科	小論文 面 接	「小論文」(日本語による) 必須 「面接」必須
経済学部	昼間コース	経 済 学 科 経 営 学 科	小論文 面 接	「小論文」(日本語による) 必須 「面接」(日本語による) 必須
理学部	理 学 科	選 抜 方 法 A	数 学 理 科 外 国 語 面 接	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」必須 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 から 1 科目選択 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」必須 「面接」(日本語による) 必須
		選 抜 方 法 B	数 学 理 科 外 国 語 面 接	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B」 } から 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, } 2 科目選択 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 } 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」必須 「面接」(日本語による) 必須
		選 抜 方 法 C	数 学 理 科 面 接	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B」 } から 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, } 2 科目選択 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」 } ①「面接」(日本語による) 必須 ②「面接」(日本語による・自然科学分野への意欲と 適性をはかる) 必須
医学部		保 健 学 科	小論文 面 接	「小論文」(日本語による) 必須 「面接」(日本語による) 必須
歯学部		歯 学 科	数 学 理 科 外 国 語 小論文 面 接	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」必須 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」 から 2 科目選択 「英語(コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」 から 1 科目選択 「小論文」(日本語による) 必須 「面接」(日本語による) 必須

区 分		学 力 検 査 等			
		教科等	科 目 名 等		
工 学 部	工 学 科	機械システム工学プログラム 社会基盤工学プログラム 電子情報通信プログラム 知能情報システムプログラム 化学システム工学プログラム 材料科学プログラム 建築学プログラム 人間支援感性科学プログラム 協創経営プログラム	数 学 理 科	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」必須 「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」,「地学基礎・地学」から1科目選択 「英語（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）」必須 「面接」（日本語による）必須	
		外国語			
		面 接			
		農 学 科	数 学 理 科		「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 } から 「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」, } 2科目選択 「生物基礎・生物」,「地学基礎・地学」 } 「英語（コミュニケーション英語Ⅰ～Ⅲ・英語表現Ⅰ・Ⅱ）」必須 「面接」（日本語による）必須
		外国語			
		面 接			

#### 留意事項

- 1 必須は、必ず受験しなければならないことを示し、選択は、教科・科目を選択して受験することを示します。
- 2 学力検査で課す教科・科目の出題範囲について
  - (1) 「数学」の出題項目は、次のとおりです。
    - ・ 「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」及び「数学A」の出題項目は、全項目とします。
    - ・ 「数学B」の出題項目は、「数列」及び「ベクトル」とします。
  - (2) 「理科」の出題項目は、次のとおりです。
    - ・ 「物理基礎・物理」の出題範囲は、「物理基礎」及び「物理」の全範囲とします。
    - ・ 「化学基礎・化学」の出題範囲は、「化学基礎」及び「化学」の全範囲とします。
    - ・ 「生物基礎・生物」の出題範囲は、「生物基礎」及び「生物」の全範囲とします。
    - ・ 「地学基礎・地学」の出題範囲は、「地学基礎」及び「地学」の全範囲とします。
- 3 教育学部, 理学部, 歯学部, 工学部及び農学部では、一般入試（前期日程）と同一の試験問題を課しますが、一般入試とは別の基準により判定します。
- 4 工学部で課す面接の際、英語圏以外の国から帰国した子女に対しては、簡単な英語の学力を検査します。



(2) 実技検査（教育学部のみ）

① 申込票

- ア 学校教員養成課程教科教育コース（音楽教育）を志望する者は、「実技検査（音楽）選択受験申込票」（本要項に添付）を出願時に提出してください。
- イ 学校教員養成課程教科教育コース（保健体育）を志望する者は、「実技検査（体育）受験種目申込票」（本要項に添付）を出願時に提出してください。
- ウ 学校教員養成課程教科教育コース（美術教育）を志望する者は、「実技検査（美術）選択受験申込票」（本要項に添付）を出願時に提出してください。

② 課題・範囲

学校教員養成課程 教科教育コース（音楽教育，美術教育，保健体育）

区 分	実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲		
音 楽 教 育	<p>次のA～Cから1つを選択してください。</p> <p>A ピアノを主とするもの……課題一覧表の(a), (e)及び(f)を課します。</p> <p>B 声楽を主とするもの……課題一覧表の(b), (d)及び(f)を課します。</p> <p>C 任意の楽器を主とするもの……課題一覧表の(c), (d)及び(e)を課します。</p> <p>課題一覧表</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(a) ピアノ</td> <td> <p>次の作曲家のピアノ作品の中から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます（ソナタの場合は、緩徐楽章を除く1つの楽章を選んでください）。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ J. S. Bach      ・ J. Haydn      ・ W. A. Mozart      ・ L. v. Beethoven                  ・ F. Schubert      ・ F. Mendelssohn      ・ F. Chopin      ・ R. Schumann                  ・ F. Liszt      ・ J. Brahms      ・ C. Debussy      ・ M. Ravel             </p> </td> </tr> </table>	(a) ピアノ	<p>次の作曲家のピアノ作品の中から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます（ソナタの場合は、緩徐楽章を除く1つの楽章を選んでください）。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ J. S. Bach      ・ J. Haydn      ・ W. A. Mozart      ・ L. v. Beethoven                  ・ F. Schubert      ・ F. Mendelssohn      ・ F. Chopin      ・ R. Schumann                  ・ F. Liszt      ・ J. Brahms      ・ C. Debussy      ・ M. Ravel             </p>
	(a) ピアノ	<p>次の作曲家のピアノ作品の中から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます（ソナタの場合は、緩徐楽章を除く1つの楽章を選んでください）。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ J. S. Bach      ・ J. Haydn      ・ W. A. Mozart      ・ L. v. Beethoven                  ・ F. Schubert      ・ F. Mendelssohn      ・ F. Chopin      ・ R. Schumann                  ・ F. Liszt      ・ J. Brahms      ・ C. Debussy      ・ M. Ravel             </p>	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(b) 声 楽</td> <td> <p>次の①～⑤の中から志願者の任意選択による3曲を暗譜歌唱させます。①～④については、伴奏楽譜を1部提出するとともに、当日は提出した楽譜の調により原詩で歌唱してください。声域に合わせて移調しても構いません。⑤については、歌詞を1部提出してください。伴奏楽器はつけません。</p> <p style="text-align: center;">                 ① Lasciar d'amarti-F. Gasparini      ④ 浜辺の歌-成田為三（2番まで）                  ② Sebben, crudele-A. Caldara      ⑤ 佐渡おけさ-日本民謡                  ③ Caro mio ben-G. Giordani             </p> </td> </tr> </table>	(b) 声 楽	<p>次の①～⑤の中から志願者の任意選択による3曲を暗譜歌唱させます。①～④については、伴奏楽譜を1部提出するとともに、当日は提出した楽譜の調により原詩で歌唱してください。声域に合わせて移調しても構いません。⑤については、歌詞を1部提出してください。伴奏楽器はつけません。</p> <p style="text-align: center;">                 ① Lasciar d'amarti-F. Gasparini      ④ 浜辺の歌-成田為三（2番まで）                  ② Sebben, crudele-A. Caldara      ⑤ 佐渡おけさ-日本民謡                  ③ Caro mio ben-G. Giordani             </p>
	(b) 声 楽	<p>次の①～⑤の中から志願者の任意選択による3曲を暗譜歌唱させます。①～④については、伴奏楽譜を1部提出するとともに、当日は提出した楽譜の調により原詩で歌唱してください。声域に合わせて移調しても構いません。⑤については、歌詞を1部提出してください。伴奏楽器はつけません。</p> <p style="text-align: center;">                 ① Lasciar d'amarti-F. Gasparini      ④ 浜辺の歌-成田為三（2番まで）                  ② Sebben, crudele-A. Caldara      ⑤ 佐渡おけさ-日本民謡                  ③ Caro mio ben-G. Giordani             </p>	
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(c) 任意の楽器※</td> <td> <p>志願者の任意選択による5分程度の自由曲（複数可）を、反復を省略して暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p> </td> </tr> </table>	(c) 任意の楽器※	<p>志願者の任意選択による5分程度の自由曲（複数可）を、反復を省略して暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>
	(c) 任意の楽器※	<p>志願者の任意選択による5分程度の自由曲（複数可）を、反復を省略して暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(d) ピアノ</td> <td> <p>次の範囲から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ バイエルピアノ教則本Op.101より 第74番～第106番（原書番号）                  ・ ソナチネアルバム1, 2（全音楽譜出版社又は音楽之友社）より ソナチネ又はソナタの1つの楽章             </p> </td> </tr> </table>	(d) ピアノ	<p>次の範囲から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ バイエルピアノ教則本Op.101より 第74番～第106番（原書番号）                  ・ ソナチネアルバム1, 2（全音楽譜出版社又は音楽之友社）より ソナチネ又はソナタの1つの楽章             </p>	
(d) ピアノ	<p>次の範囲から志願者の任意選択による1曲を、反復を省略して暗譜演奏させます。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する曲の作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記してください。楽譜の提出は不要です。</p> <p style="text-align: center;">                 ・ バイエルピアノ教則本Op.101より 第74番～第106番（原書番号）                  ・ ソナチネアルバム1, 2（全音楽譜出版社又は音楽之友社）より ソナチネ又はソナタの1つの楽章             </p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(e) 声 楽</td> <td> <p>Concone50番練習曲（版は特に指定しません。）No.10, 11, 12の中から1曲を当日指定し，暗譜歌唱させます。No.10, 11, 12の伴奏楽譜を各1部提出してください。声域に合わせて移調しても構いません。唱法は，階名唱や母音唱など自由とします。当日は提出した楽譜の調で歌唱してください。</p> </td> </tr> </table>	(e) 声 楽	<p>Concone50番練習曲（版は特に指定しません。）No.10, 11, 12の中から1曲を当日指定し，暗譜歌唱させます。No.10, 11, 12の伴奏楽譜を各1部提出してください。声域に合わせて移調しても構いません。唱法は，階名唱や母音唱など自由とします。当日は提出した楽譜の調で歌唱してください。</p>	
(e) 声 楽	<p>Concone50番練習曲（版は特に指定しません。）No.10, 11, 12の中から1曲を当日指定し，暗譜歌唱させます。No.10, 11, 12の伴奏楽譜を各1部提出してください。声域に合わせて移調しても構いません。唱法は，階名唱や母音唱など自由とします。当日は提出した楽譜の調で歌唱してください。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">(f) 任意の楽器※</td> <td> <p>志願者の任意選択による3分程度の自由曲（複数可）を暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p> </td> </tr> </table>	(f) 任意の楽器※	<p>志願者の任意選択による3分程度の自由曲（複数可）を暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>	
(f) 任意の楽器※	<p>志願者の任意選択による3分程度の自由曲（複数可）を暗譜演奏させます。伴奏はつけません。実技検査（音楽）選択受験申込票に、選択する楽器，作曲者名，作品名，作品番号，楽章等を明記し，楽譜を1部提出してください。</p>		
<p>※ 任意の楽器：管弦楽・吹奏楽に使用される楽器（ピアノを除く。），箏，三味線，尺八，クラシックギター，リコーダーの中から1つ。楽器は当日持参してください。</p> <p>注……時間の関係で，演奏を途中でやめてもらうことがあります。なお，提出した楽曲は，変更できません。また，提出した楽譜は返却しません。</p>			
美術 教 育	<p>次のⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち，いずれかを選択してください。</p> <p>Ⅰ 静物着彩（180分） 各自用意するもの 水溶性絵の具，筆，パレット，筆洗，鉛筆，消しゴム</p> <p>Ⅱ 美術に関する小論文（120分）</p> <p>Ⅲ 臨書及び書の創作（半紙及び半切・120分） 各自用意するもの 書道用具一式</p>		

区 分	実 技 検 査 課 題 ・ 範 囲		
保 健 体 育	下表のⅠ～Ⅴ群から2つの群を選び、各群の中から1種目、計2種目を選択してください。		
	群	種	目
	Ⅰ	陸 上 競 技	① ハードルと立ち5段跳 (1種目)
	Ⅱ	水 泳	① 200M個人メドレー (1種目)
	Ⅲ	器 械 運 動	男子：① 高鉄棒とマット (1種目) 女子：① 跳箱とマット
		ダ ン ス	① 課題による創作と基礎技能 (1種目)
		体 操	① 自由課題による一連の運動と基礎技能 (1種目)
	Ⅳ	球 技	① バレーボール ② バスケットボール ③ サッカー ④ 卓球 ⑤ バドミントン ⑥ 野球(硬式又は軟式) (6種目)
	Ⅴ	武 道	① 柔道 ② 剣道 (2種目)
	(注) *体操を選択する者のうち、手具や音楽を使う場合には、手具・CDを持参してください。 *卓球及びバドミントンを選択する者は、ラケットを持参してください。 *野球を選択する者は、グローブを持参してください。 *水泳及び武道を選択する者は、用具を持参してください。 *検査は、すべて屋内で実施しますので、体育館シューズを持参してください。		

#### 4 学力検査等期日及び時間割等

区 分		月日(曜日)	教 科 等	時 間 割	備 考	
人文学部	人文学科	2月25日(日)	小論文(必須)	10:00~11:30 (90分)		
			面接(必須)	13:30~		
教育学部	学校教育コース	2月25日(日)	〔学校教育学 教育心理学 特別支援教育〕	数 学(選択)	10:00~11:30 (90分)	
				2月26日(月)	外国語(選択)	
				国 語(選択)	13:30~15:00 (90分)	
	学 校	〔国語教育 社会科教育〕	2月26日(月)	外国語(必須)	10:00~11:30 (90分)	
				国 語(必須)	13:30~15:00 (90分)	
	教 科	(英語教育)	2月26日(月)	外国語(必須)	10:00~11:40 (100分)	
				国 語(必須)	13:30~15:00 (90分)	
	教 員 養 育	(数学教育)	2月25日(日)	数 学(必須)	10:00~11:30 (90分)	
			2月26日(月)	理 科(選択)	13:30~15:00 (90分)	
		(理科教育)	2月25日(日)	外国語(選択)	10:00~11:30 (90分)	
	2月26日(月)		数 学(選択)	10:00~11:30 (90分)		
			2月25日(日)	理 科(必須)	13:30~15:00 (90分)	
			2月26日(月)	外国語(選択)	10:00~11:30 (90分)	
	課 程	(家庭科教育)	2月25日(日)	数 学(必須)	10:00~11:30 (90分)	
			2月26日(月)	外国語(選択)	10:00~11:30 (90分)	
				国 語(選択)	13:30~15:00 (90分)	
		(技術科教育)	2月25日(日)	数 学(必須)	10:00~11:30 (90分)	
			理 科(必須)	13:30~15:00 (90分)		
	(音楽教育)	2月25日(日)	実技検査(必須)	9:00~18:00(終了予定)		
	(美術教育)	2月25日(日)	実技検査(必須)	9:00~12:00 (180分)	「静物着色」 選択者	
10:00~12:00 (120分)				「美術に関する 小論文」選択者		
				9:00~12:00(うち120分) 準備・後片付けの時間を含む	「臨書及び書の 創作」選択者	
	(保健体育)	2月25日(日)	実技検査(必須)	9:00~18:00(終了予定)		
法学部	法 学 科	2月26日(月)	小論文(必須)	10:00~12:00 (120分)		
			面接(必須)	13:30~		
経済学部	経済学科 経営学科	2月25日(日)	小論文(必須)	10:00~11:30 (90分)		
			面接(必須)	13:30~		

区 分		月日(曜日)	教 科 等	時 間 割	備 考	
理 学 部	理 学 科	選 抜 方 法 A	数 学(必須)	10：00～12：00 (120分)		
			理 科(必須)	13：30～15：00 (90分)		
			面 接(必須)	15：30～		
		2月26日(月)	外 国 語(必須)	10：00～11：30 (90分)		
		選 抜 方 法 B	2月25日(日)	数 学(選択)	10：00～11：30 (90分)	
				理 科 (必須, 選択)	13：30～15：00 (90分)	1科目受験者
				13：30～16：30 (180分)	2科目受験者	
	面 接(必須)	15：30～	理科1科目受験者			
		17：00～	理科2科目受験者			
	2月26日(月)	外 国 語(必須)	10：00～11：30 (90分)			
	選 抜 方 法 C (※)	2月25日(日)	数 学(選択)	10：00～11：30 (90分)		
			理 科 (必須, 選択)	13：30～15：00 (90分)	1科目受験者	
				13：30～16：30 (180分)	2科目受験者	
			①面 接(必須)	15：30～	理科1科目受験者	
		17：00～	理科2科目受験者			
2月26日(月)	②面 接(必須)	9：00～18:00 (終了予定)				
医 学 部	保 健 学 科	2月25日(日)	小 論 文(必須)	10：00～11：30 (90分)		
			面 接(必須)	13：00～		
歯 学 部	歯 学 科	2月25日(日)	数 学(必須)	10：00～11：30 (90分)		
			理 科(必須)	13：30～16：30 (180分)	2科目必須	
		2月26日(月)	外 国 語(必須)	10：00～11：30 (90分)		
			小 論 文(必須)	13：30～15：00 (90分)		
	面 接(必須)	15：15～				

※理学部志願者で選抜方法Cを選択した者は①及び②の面接を受験することが必要です。

区 分		月日(曜日)	教 科 等	時 間 割	備 考
工 学 部	工 学 科	2月25日(日)	数 学(必須)	10:00~12:00 (120分)	
			理 科(必須)	13:30~15:00 (90分)	
			面 接(必須)	15:30~	
		2月26日(月)	外 国 語(必須)	10:00~11:30 (90分)	
農 学 部	農 学 科	2月25日(日)	数 学(選択)	10:00~11:30 (90分)	
			理 科 (必須, 選択)	13:30~15:00 (90分)	1科目受験者
				13:30~16:30 (180分)	2科目受験者
		面 接(必須)	17:00~		
2月26日(月)	外 国 語(必須)	10:00~11:30 (90分)			

## 5 出 願 手 続

### (1) 出願資格の確認

志願者は、出願前に出願資格を確認する必要がありますので、次の書類等を、平成30年1月15日(月)までに提出してください（既に提出済みの者は除きます。）。

#### ① 出願資格の確認に必要な書類等

- ・「出願資格確認書」…本要項巻末に綴じ込んである用紙です。
- ・「卒業（修了）証明書（写）又は同見込証明書」  
…最終出身学校（日本の高等学校に対応する学校）の証明書を提出してください。必ず日本語訳を添付してください。
- ・「返信用封筒」…長形3号封筒（120mm×235mm）に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、82円（速達は362円）分の切手を貼ってください。

#### ② 提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
新潟大学学務部入試課 電話（025）262-6079

### (2) 出 願 方 法

出願書類の提出は、書留速達による郵送に限ります。

志願者は、次の(4)の出願書類等を取りそろえ、本要項に添付の指定封筒（「入学願書在中」）を使用して(5)の出願書類等提出先に郵送してください。

### (3) 出 願 期 間

**平成30年1月22日(月)から1月31日(水)（必着）**

（注）出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、1月29日(月)以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

(4) 出願書類等

区分	出願書類等	摘 要
全 員 が 提 出 す る 書 類	1 入学志願票 ・受験票 ・写真	本要項に添付の用紙を使用してください。記入に際しては、記入上の注意(21, 22ページ)を参照してください。 なお、「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を所定欄に確実に貼ってください。 (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
	2 検定料 17,000円	本要項に添付の「振込依頼書(新潟大学帰国子女特別入試検定料)・振込金及び手数料領収書(志願者保存)・検定料納付証明書(新潟大学提出用)」に必要事項を記入し、以下の点に留意のうえ、切り離さずに最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行を除く。)に持参し、窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。 なお、振込手数料は、志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は、必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振込みは、平成30年1月15日(月)から1月31日(水) [15時00分]までの期間内に必ず行ってください。(※土・日曜日の振込みはできません。) ③ ATM(現金自動預払機)での振込みはできません。
	3 検定料納付証明書 (新潟大学提出用)	金融機関の窓口から返却された「検定料納付証明書(新潟大学提出用)」を入学志願票の所定欄に貼ってください。 (※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。)
	4 卒業(修了)証明書 又は同見込証明書	出願資格(1)又は(6)に該当する者は、最終出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書を提出してください。(証明書は、オリジナルとします。なお、返却を希望する場合は、その旨を明記してください。) なお、(6)に該当する者は、上記の証明書に加えて、当該教育施設が認定を受けていることを証明する書類を提出してください。 国際バカロレア資格取得者は、国際バカロレア資格証書(写)を、ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格取得者は、一般的大学入学資格証明書(写)を、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、バカロレア資格証書(写)を、GCEAレベル資格取得者はGCEAレベル資格証書(写)を提出してください。 〔フランス共和国のバカロレア資格証書が未発行の場合は、下記「5」の試験成績証明書をもって代えます。〕
	5 成績証明書等	出願資格(1)又は(6)に該当する者は、最終出身学校(日本の高等学校に対応する学校)の成績証明書を提出してください。(証明書は、オリジナルとします。) 〔成績証明書記載事項のうち科目名、成績評価等が符号又は略字により表示されている場合は、必ずその説明を付してください。〕 国際バカロレア資格取得者は、最終試験6科目の成績評価証明書を、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、試験成績証明書を、GCEAレベル資格取得者は、成績評価証明書を提出してください。 ドイツ連邦共和国のアビトゥア資格取得者は、上記「4」の一般的大学入学資格証明書(写)をもって代えます。
	6 保護者の 海外在留証明書	在外公館又は保護者の所属する機関の長による海外在留証明書(滞在期間、在留地を明記してください。様式自由)を提出してください。 法学部志願者は、提出の必要はありません。
	7 返信用封筒2枚 〔入学試験関係書類在中 ・合格通知書 在中〕	本要項に添付の返信用封筒2枚を提出してください。 封筒の表にはそれぞれ日本国内の連絡先の郵便番号・住所・氏名を明記し、「新潟大学入学試験関係書類在中」封筒には郵便切手372円分を貼ってください。「新潟大学合格通知書在中」封筒には郵便切手を貼る必要はありません。
	8 実技検査(音楽)選択受験申込票 ・実技検査(体育)受験種目申込票 ・実技検査(美術)選択受験申込票	教育学部の志願者で、実技検査(音楽・体育・美術)を受験する者は、本要項に添付の用紙を使用し、提出してください。
	9 楽譜等	教育学部の志願者で、実技検査(音楽)を受験する者は、選択した課題により、楽譜、伴奏楽譜を提出してください。
	10 スポーツ歴記入票	教育学部の学校教員養成課程教科教育コース(保健体育)の志願者は、本要項に添付の用紙を使用し、提出してください。 証明者については、高等学校長等(学校関係者)で証明してください。
	11 理学部選抜方法C 面接のための参考資料	理学部の志願者で、選抜方法Cで受験する者は、本要項に添付の用紙を使用し、提出してください。

(5) 出願書類等提出先

あ て 先			問 合 せ 先	
区 分	郵便番号	所 在 地		
人文学部	950-2181	新潟市西区五十嵐2の町8050番地	人文学部学務係	(025)262-6281
教育学部			教育学部学務企画係	(025)262-7095
法学部			法学部学務係	(025)262-6283
経済学部			経済学部学務係	(025)262-6284
理学部			理学部学務係	(025)262-6106
工学部			工学部学務係	(025)262-6709
農学部			農学部学務係	(025)262-6605
医学部 (保健学科)	951-8518	新潟市中央区旭町通2番町746番地	医学部保健学科学務係	(025)227-2357
歯学部 (歯学科)	951-8514	新潟市中央区学校町通2番町5274番地	歯学部学務係	(025)227-2798

(6) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- ② 出願書類提出後は、出願書類の返却及び「連絡先」以外の記載事項の変更を認めません。
- ③ 検定料振込み後、出願期間内に書類を提出しなかった場合は、当該検定料（17,000円）を返還します。

詳細は、本学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する方」→「納付済検定料返還手続」を参照してください。

なお、納付済検定料返還請求書の郵送を希望される方は、財務部財務管理課収入係まで連絡してください。

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
新潟大学財務部財務管理課収入係  
電話 (025) 262-6053

- ④ 「受験票」及び「受験案内」は、2月9日(金)に発送します。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載内容があった場合には、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

## 6 試 験 場

試験場は、志望学部の所在地を予定しています。

なお、試験場は、2月9日(金)に発送する「受験案内」により通知します。

## 7 受験上の留意事項

### (1) 試験当日及び試験時間中の留意事項

- ① 受験の際は、「新潟大学受験票」を必ず携帯してください。
- ② 筆記用具等は、黒鉛筆（黒シャープペンシルを含みます）・鉛筆削り（電動式を除きます）・消しゴムとします。これ以外は使用できません。
- ③ 時計の使用は、計時機能だけのものに限りです。辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいものは使用できません。
- ④ 教育学部、理学部、工学部及び農学部の「地学」を受験する者は、15cm程度の定規を用意してください。
- ⑤ その他学力検査等の受験に際しての詳細は、「受験案内」で指示します。

### (2) 不正行為

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。

ア 志願票、受験票、写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票、写真票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど。）をすること。

イ カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。

ウ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。

エ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。

オ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。

カ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。

キ 試験時間中に、スマートフォンや携帯電話、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。

ク 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）を使用すること。

ケ 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。



- ② 上記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記①と同様です。

- ア 試験時間中に、持ち込みを許可されたもの以外の補助具（定規、コンパス、電卓等）及びスマートフォンやウェアラブル端末等の電子機器類等をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- イ 試験時間中にスマートフォンや携帯電話、時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
- ウ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申出をすること。
- エ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- オ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

## 8 合格者の発表

合格者の受験番号を掲示により発表します。

日	時	場	所
平成30年 3月 8日(木)	午前10時	新潟大学事務局前特設掲示板	(五十嵐キャンパス)

なお、発表と同時に合格者へ、速達郵便により合格通知書等を送付します。

また、合格発表後（午前11時頃）、合格者の受験番号を本学ホームページ及び携帯サイトに掲載します。

ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

携帯サイト <http://daigakuic.jp/niigata-u/>



(注) (1) ホームページ等への掲載は、情報提供の一環として行うものですので、必ず合格通知書で確認してください。

(2) 合格者発表日のホームページへのアクセスについては、回線が大変混み合い、接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

可否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

### 注意

JR新潟駅周辺又は新潟大学最寄りの駅等で、合否電子郵便等の勧誘を行っていることがありますが、新潟大学では、そのようなことは行っていません。

不当な料金を請求される等のトラブルも発生していますので、十分注意願います。

## 9 入学手続等

入学手続期間等の概要は、次のとおりです。

なお、入学手続の詳細は、「合格通知書」とともに送付する「入学手続案内」により通知します。

### (1) 入学手続期間

下記の期間に手続を行ってください。合格者が下記の期間内に入学手続を完了しない場合、入学辞退者として取り扱います。

平成30年3月14日(水)～15日(木)

### (2) 入学手続に必要な書類等

#### ① 入学料

282,000円〔予定額〕の振込みを証する書類

#### ② その他の書類

- ・新潟大学受験票
- ・学生調書（本学所定用紙）、誓約書（本学所定用紙）
- ・写真（縦40mm，横30mm）

### ○ 授業料

年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）〔予定額〕

- (1) 授業料は、入学後、口座引き落としにより納付していただく予定です。
- (2) 授業料の納付方法の詳細については、合格者に別途通知します。
- (3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料及び授業料については、免除及び徴収猶予の制度があります。詳細は、本学ホームページ（<http://www.niigata-u.ac.jp/>）の「入学を希望する方」→「入学料免除及び徴収猶予制度」、「授業料免除及び徴収猶予制度」又は合格者に送付する「入学手続案内」を参照してください。

## 10 学生寮への入寮について

学生寮の出願受付は、入試区分（一般入試，推薦入試，帰国子女特別入試，社会人特別入試，私費外国人留学生特別入試及び編入学試験）にかかわらず一斉に行います。帰国子女特別入試を受験し学生寮への入寮を希望する方は，新潟大学受験票（2月9日発送）が到着後，写しを同封し，下記により出願してください。

なお，学生寮（新潟大学五十嵐キャンパス内）の概要は，以下のとおりです。

寮名	収容人数	居室の状況，寮費等の月額
六花寮男子棟 六花寮女子棟	各100人 (うち留学生各20人)	個室(12.46㎡)，居室費13,000円，光熱水料7,000円程度 各居室に冷暖房あり，食事提供なし
五十嵐寮A棟(男子) 五十嵐寮B棟(女子)	各200人 (うち留学生各5人)	個室(9.45㎡)，居室費4,300円，光熱水料7,000円程度， 自治会費年間2,000円，各居室に冷房なし暖房あり， 食事提供なし

### (1) 募集要項等の入手方法

○新潟大学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>) の「入学を希望する方」→「学生寮入寮者の募集について」に学生寮入寮者募集要項と出願様式を掲載しますので，ダウンロードしてください。

○新潟大学ホームページでの掲載期間は，平成29年12月20日(水)～平成30年2月23日(金)です。

○ダウンロード以外の方法を希望する場合は，(6)の問合せ先に問い合わせてください。

### (2) 出願条件

通学所要時間が2時間以上の者（通学所要時間とは，自宅から，通常の通学方法と経路による片道の通学時間をいいます。）

なお，入寮選考は家庭の経済状況（家計支持者等の収入）を基準として行います。

### (3) 入寮願書の提出方法

封筒（標準角形2号（240mm×332mm））に入寮願書等を入れ，下記出願期間内に学務部学生支援課へ郵送してください。土・日曜日・祝日以外は，持参受付（8時30分～17時15分）も行います。なお，出願期間は入試区分にかかわらず一律ですので，必ずこの期間内に出願を済ませてください。

出願期間 平成30年2月1日(木)～平成30年2月23日(金) 17時15分まで（必着）

宛 先 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部学生支援課学生係

### (4) 募集人員

六花寮…男子・女子各約20人

五十嵐寮A棟…男子約50人（「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」対象者含む。）

五十嵐寮B棟…女子約50人（同 上）

### (5) その他

出願には新潟大学受験票の写しのほか，市区町村が発行する所得証明書なども必要となりますので，必要書類は早めに取りそろえてください。

(6) 問合せ先（平日のみ）

学務部学生支援課学生係 電話（025）262－6091

## 11 障がい等を有する入学志願者の事前相談

障がい等を有する入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、次により本学と相談してください。

① 相談の期限

平成30年1月15日(月)までとします。

ただし、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

なお、相談の期限後に、配慮が必要となった者は、至急③の連絡先に問い合わせてください。

② 相談の方法

申請書（所定用紙）を請求のうえ、医師の診断書等必要書類を添付し、提出してください。必要な場合は、本学において志願者及び関係者等と面談を行います。

③ 連絡先・申請書請求先

〒950－2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部入試課

電話（025）262－6079

## 12 入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査・研究、分析を行うために利用します。

(3) 各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学から当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」という。）において行うことがあります。業務委託に当たり、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部又は一部を受託業者へ提供します。

(4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は、入学者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用します。

なお、個人情報のうち、合格者の氏名及び住所については、本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

## 13 入試情報の提供及び開示

新潟大学では、「帰国子女特別入試」について、次のとおり入試情報の提供及び開示を行います。

### 1 入学試験実施状況として提供する情報

- (1) 志願者数，受験者数，合格者数，入学者数，入学辞退者数  
本学ホームページ (<http://www.niigata-u.ac.jp/>)，志願者等に配布する印刷物への掲載及び本学入試課で公表します。
- (2) 試験問題  
本学入試課で提供します。
- (3) 正解・解答例  
本学入試課で公表します。なお，科目によっては，出題の意図を公表する場合があります。
- (4) 採点・評価基準，合否判定基準  
本学ホームページで公表しています。
- (5) 入学試験実施組織  
入学試験実施組織の目的，構成員並びに人数等の概要は，本学入試課で公表します。

### 2 受験者本人からの請求（郵便のみ）により開示する個人情報

試験成績（面接，小論文，実技等を含みます。）

受験者本人（合格者及び不合格者）からの郵便による請求のみに対して開示します。

開示する内容は，次のとおりです。

- ① 評価（点数以外の評価，順位等）のすべて又はいずれか
- ② 学力検査の科目ごとの得点及び総合点

開示の方法は，文書により簡易書留で本人あてに郵送します。

#### ア 請求期間及び開示期日

平成30年4月9日(月)から請求を受け付けます。

平成30年5月31日（消印有効）までの請求分は，平成30年6月下旬に開示します。

平成30年8月31日（消印有効）までの請求分は，平成30年9月下旬に開示します。

平成30年11月30日（消印有効）までの請求分は，平成30年12月下旬に開示します。

#### イ 請求時の送付書類

- (a) 必要事項を記入した入試情報開示請求書（本要項添付の様式）
- (b) 本学受験票（開示の際，同封のうえ返送します。）
- (c) 本人確認書類（氏名及び現住所を確認できるもの。住民票，保険証（写），運転免許証（写），公共料金の領収書等）
- (d) 上記(c)の書類に記載されている住所が宛先となっている返信用封筒（長形3号（120mm×235mm）に，郵便番号・氏名を明記し，郵便切手402円分（今後，郵便料金の改定があった場合は，改定後の料金）を貼ったもの。）

#### ウ 送付先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地  
新潟大学学務部入試課

(注)

- 1 本学入試課で公表する資料の閲覧期間は、平成30年6月から平成31年2月までとします。
- 2 不明な点は、新潟大学学務部入試課へ照会してください。  
電話 (025) 262-6079・6237
- 3 他に「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、開示請求する方法があります。この場合、請求手数料300円が別途必要となります。  
問合せ先は、新潟大学総務部総務課 電話 (025) 262-6025 です。



## 出願資格の確認について

新潟大学「帰国子女特別入試」の志願者は、出願前に出願資格の確認をする必要がありますので、次の書類等を、入試課あて提出してください。

### 1 出願資格の確認に必要な書類等

#### (1) 「出願資格確認書」

……右の用紙を使用してください。

#### (2) 「卒業（修了）証明書（写）又は同見込証明書」

……最終出身学校（日本の高等学校に対応する学校）の証明書を提出してください。必ず日本語訳を添付してください。

#### (3) 「返信用封筒」

……長形3号封筒（120mm×235mm）に志願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、82円（速達は362円）分の切手を貼ってください。

### 2 提出先

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部入試課

電話（025）262-6079

### 3 提出期限

平成30年1月15日(月)まで。

## 新潟大学 帰国子女特別入試 出願資格確認書

フリガナ		性別		志望学部	志望学科・課程
氏名		男・女			
生年月日	年 月 日 ( 歳 )			学部	学科 課程
本籍地 (国籍)					
帰国年月日	20 年 月 日	帰国後	年 月		
本人 連絡先	住所 〒 電話番号 ( ) - Fax ( ) - E-mail :				
日本国内 の連絡先 (必須)	住所 〒 電話番号 ( ) - Fax ( ) - E-mail :				

区分	学校名	学校所在国名	規定の 修業年限	在学期間	
				入学年月～卒業(修了)等年月	在学年・月数
初等教育	小学校		年制	19 年 月～ 年 月	年 月
	中学校			年 月～ 年 月	年 月
	高校			年 月～ 年 月	年 月
高等教育	大学			年 月～ 年 月	年 月
その他	国際バカロレア資格取得	資格取得年月		年 月	
	アビトゥア資格取得	資格取得年月		年 月	
		資格取得年月		年 月	

職歴	勤務先等	在職期間
		就職年月～退(離)職年月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月

特記事項	<p>〔学歴の飛び級等特別な事情がある場合は、ここに記載してください。保護者の海外勤務等の事情による者に限ることを出願資格としている学部に出願する者は、保護者の滞在期間、在留地等を記載してください。〕</p>
------	--

切取り線